

会計名			各種大会補助事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	指導係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	全国大会等を本市に誘致することで、競技者の拡大や青少年の健全な育成、競技力向上及び競技団体の強化を図るとともに、市民が間近に観戦する環境を整え、見るスポーツの促進を図り、市民が多くのスポーツにふれる機会を提供する。				主たる内容	○全国大会等開催費用の一部助成		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	刈谷市体育協会へ関連する競技団体			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		日本女子ソフトボールリーグを始めとする19の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする19の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする16の大会に補助金を交付した。		日本女子ソフトボールリーグを始めとする21の大会に補助金を交付する。	
成果		全国レベルの大会等を誘致することで、市民がスポーツに触れる機会を創出するとともに、「みる・ささえるスポーツ」を通じて、スポーツ活動に参加できるきっかけづくりを行った。また、青少年がスポーツに親しみ、競技力の向上や幅広い交流を行う機会を支援し、青少年の健全育成を図った。							
課題		みる、ささえるスポーツを通じて、本市の更なるスポーツ振興をはかるため、事業を充実させ、全国大会や世界大会の積極的な誘致を行う。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		大会数（大会）			19	19	16	21	21
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		7,411	10,226	11,879	14,134	合計 11,879,120 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 11,879,120 円		
		一般財源	7,411	10,226	11,879	14,134			
	職員人件費 ②		1,959	1,954	1,163	1,365			
	総事業費（①+②）		9,370	12,180	13,042	15,499			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		0					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			各種大会補助事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	指導係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民が、主体的にスポーツに親しむきっかけとなり、生涯スポーツ社会の実現に向け、必要な事業であると考えられる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	本市の有料施設使用料相当額分を補助するもので、使用料は市の歳入となり相殺されるため、本市として大きな負担なくトップレベルの大会誘致ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	スポーツの重要性を再認識してもらい、市民のスポーツ活動への動機づけを行うことで、本市のスポーツ活動の推進が図られ、市が主体となり積極的に推進する事業であると考えられる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」に向け、みるスポーツ等の観点から、市民がスポーツを楽しむことができる環境づくりに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
スポーツに対する市民ニーズが多様化している中、市民がさまざまなスポーツに触れる機会を設け、競技の普及、競技人口の拡大、競技レベルの向上等を目指すとともに、スポーツを楽しむことができる環境を整えることで、生涯スポーツの推進が図られる。重要な事業であり、今後も継続する必要がある事業と考えられる。					

会計名 一般会計			ホームタウンパートナー事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	7	2					担当係	普及係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	全国や世界で活躍するスポーツチームの情報等を市民に周知することで、地域に親しまれるチーム作りに寄与するとともに、見るスポーツの促進を図り、本市のさらなるスポーツの活性化に寄与する。	主たる内容	○ホームタウンパートナー連絡会の開催（年3回） ○刈谷キラキラ教室の開催 ○ホームタウンパートナーチーム啓発用リーフレット等の作成 ○ウィングアリーナ（WA）刈谷等での啓発活動の実施					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市スポーツマスタープラン		根拠法令			
	対象者	市民、ホームタウンパートナーチーム		事業期間	平成27年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 認定チーム数 12チーム 連絡会の開催 3回 リーフレット・横断幕作成 市民だより及びホームページでのPRの実施 オアシス館刈谷での常設展示PRの実施 刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 		<ul style="list-style-type: none"> 認定チーム数 12チーム 連絡会の開催 3回 リーフレット・うちわ作成 市民だより等でのPR実施 WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 観戦動員の実施 5試合 		<ul style="list-style-type: none"> 認定チーム数 12チーム 連絡会の開催 3回 リーフレットやうちわ、横断幕等の作成 市民だより等でのPR実施 WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 観戦動員の実施 6試合 		<ul style="list-style-type: none"> 認定チーム数 12チーム 連絡会の開催 3回 啓発物品の作成 市民だより等でのPR実施 WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 観戦動員の実施 	
		成果	国内最高レベルの試合を身近で観戦できる機会があることを多くの市民に周知することや、トップアスリートによるスポーツ教室、中学校部活動部員等のホームゲームへの招待等を通して「する・みる・ささえる」というスポーツの多面性の中で、一市民スポーツの推進を図ることができた。また、特に教室参加者からは、意欲的な意見が多く寄せられるなど、競技意欲の向上が図られ、ジュニア世代の育成に一定の成果を得ることができた。						
課題		<ul style="list-style-type: none"> パートナー制度の趣旨や目的に対する各チームや母体企業の理解の深化 事業を推進するにあたっての、各チームを始めとする関係各所との連携の一層の強化 パートナーチームに所属しない個人競技者への支援のあり方についての検討 							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		刈谷キラキラ教室実施回数（回）		2	2	3	2	3	
活動指標									
他市との比較検証		トップレベルの多くの競技に身近で触れ合うことが出来る、全国的にもあまり類を見ない本市のスポーツ環境は、スポーツ振興を図る上で、本市の大きな強みとなっている。							
C 事業 コスト 建設 事業		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		272	366	1,056	557	合計 1,055,736 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	24,000 円	
		一般財源	272	366	1,056	557	需用費	626,520 円	
	職員人件費 ②		3,525	3,126	3,102	3,510	備品購入費	380,160 円	
	総事業費（①+②）		3,797	3,492	4,158	4,067	負担金、補助及び交付金	25,056 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			ホームタウンパートナー事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	様々な競技で、日本トップレベルのチームやアスリートが市内に数多く存在しているという、全国でも類まれな恵まれたスポーツ環境、すなわち、本市の強みや特性を活用した事業であり、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力発信のために非常に有益な事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	事業の実施にあたっては、パートナーチームの理解の下、グッズや観戦機会の提供、地域貢献活動としての本市事業への積極的な協力などをいただいております。市民協働による取組みの推進として、事業の実施に係る効率や妥当性、費用対効果は高いと思われる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	住みよいまちづくりや市の魅力発信のために、市が市の強みや特性を活用した事業を主体的に実施することは、必要かつ不可欠なことであると思われる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの重点施策として推進を図っており、「する、みる、ささえる」スポーツを通じた魅力あるまちづくりに貢献している。	
	今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	第2次刈谷市スポーツマスタープランの重点施策として位置づけられており、また、恵まれたスポーツ環境を有する本市だからこそ実施できる特色のある事業である。本事業は、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力発信のために非常に有益となっていると思われるので、今後についても、各パートナーチームとの連携の強化等を図り、事業の一層の充実を目指していく。				

会計名			国際スポーツ大会等招致事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	7	2								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実							
	目的	国際スポーツ大会等を誘致することで、次世代を担う青少年に夢や希望を与えるとともに、スポーツとのふれあいを通じて、市民が主体的にスポーツと関わる「豊かなスポーツライフの実現」に取り組む。	主たる内容	○国際スポーツ大会等の招致活動の実施 ・誘致推進委員会の開催 ・関係機関や競技団体への訪問等による調査、情報収集及びPRの実施						
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
		対象者	市民、競技団体	事業期間	平成28年度～					
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO実績 計画V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> 誘致推進委員会の設置 誘致推進委員会の開催 2回 フットサル国際親善大会の開催(4月ウィングアリーナ) 日本バスケットボール協会等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 誘致推進委員会の開催 2回 バスケットボール女子日本代表国際強化試合の開催 フットサルFリーグプレシーズンマッチの開催及び日本代表トレーニングキャンプの受入れ 競技団体等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 誘致推進委員会の開催 2回 フットサルFリーグプレシーズンマッチの開催 競技団体等への訪問等による招致に関する調査、PR等の実施 		
成果		フットサルプレシーズンマッチやバスケットボール国際強化試合等を招致し、ハイレベルな競技に触れ合う機会を多くの市民に提供することができた。また、本市の大会運営能力の高さを国内外の関係者にアピールすることができた。さらなる国際大会等の開催等を目指し、日本協会等関係団体との情報交換や本市の取組みの提案、東京オリンピック競技大会出場国キャンプ地誘致に係る誘致目標国の絞り込み等を行うことができた。								
課題		・東京オリンピック出場国事前キャンプ地誘致に係る誘致目標国競技団体関係者等に向けた直接的な招致PR活動								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		国際スポーツ大会等誘致推進委員会開催回数（回）		—	2	2	2	2		
指標										
他市との比較検証		2020東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地の誘致について、愛知県内では刈谷市の他、碧南市、豊田市、安城市など17の自治体が誘致を目指している。（※あいちスポーツコミッションHPより）								
C事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	416	4,632	15,654	合計	4,631,995 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	57,600 円		
		一般財源	0	416	4,632	15,654	旅費	59,700 円		
	職員人件費 ②		0	1,563	3,490	4,680	需用費	1,343,635 円		
	総事業費（①+②）		0	1,979	8,122	20,334	役務費	4,500 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			国際スポーツ大会等招致事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	ハイレベルなスポーツ競技大会を開催することで、「スポーツのまち刈谷」を内外にアピールするとともに、本市における更なるスポーツ振興が図られ、スポーツを通じた青少年の健全育成、生きがいづくり等、本市のまちづくりに大きく寄与するものである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	他市にはない本市の特性を生かした取組みであり、スポーツを通じたまちづくりを推進するために適している事業の1つである。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	スポーツを通じたまちづくりを推進するために、市が主体となって実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」「一市民スポーツ」の実現に向け、その施策の1つである「みるスポーツ」の推進を図る上で、貢献度の高い事業である。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
第2次スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」「一市民スポーツ」の実現に向けた施策の1つとして、今後も事業の拡大を図り、国際スポーツ大会等の誘致を積極的に実施し、スポーツを通じたまちづくりを推進する。					

会計名 一般会計		宝くじスポーツフェアドリーム・サッカー				担当部	教育部		
款	項	目	開催事業			担当課	スポーツ課		
10	7	2				担当係	普及係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	国際スポーツ大会等の開催気運を盛り上げるとともに、競技力の向上、競技を通じた青少年の健全育成を図り、「サッカーのまち刈谷」として、魅力あふれるまちづくりを目指す。	主たる内容	○宝くじスポーツフェアドリーム・サッカーの開催 場所 ウェーブスタジアム刈谷					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	平成29年度 ~ 平成29年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		—		・平成30年1月13日（土）指導者クリニック 参加者数 20人 ・平成30年1月14日（日）少年少女サッカー教室 参加者数 10チーム213人 アトラクション（PK戦）ドリーム・ゲーム（日本代表OB対刈谷市選抜）		—	
成果		日本代表OB選手による指導者クリニックやサッカー教室、ドリームゲームを開催することにより、ハイレベルな競技に触れ合う機会を多くの市民に提供することができた。また、アンケート結果ではイベント内容の満足度は非常に高く、「また観覧・参加したい」が7割を超えるなど、サッカーのまち刈谷を多くの人々にPRすることができた。							
課題		指導者クリニックでは50名程度の参加を想定していたが、半分以下の参加数にとどまったので、より効果的・効率的な募集方法を検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		来場者数（人）			—	—	3,000	—	—
活動指標									
他市との比較検証		平成29年度開催市の状況（来場者） 富山県魚津市 3,500人、石川県白山市 2,500人、鳥取県米子市 3,600人、香川県高松市 4,000人							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,642	0	合計	1,641,610 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,641,610 円	
		一般財源	0	0	1,642	0			
	職員人件費 ②		0	0	1,551	0			
	総事業費（①+②）		0	0	3,193	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費			0				
31年度以降の事業費見込			0						

会計名 一般会計			宝くじスポーツフェアドリーム・サッカー 開催事業		担当部	教育部
款	項	目			担当課	スポーツ課
10	7	2			担当係	普及係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民が本市の取組みや「サッカーのまち」を知り親しむきっかけとなる事業であり、国際スポーツ大会等の開催気運の盛り上げや、「サッカーのまち」としての魅力あふれるまちづくりのためには必要な事業であると考えられる。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	会場であるウェーブスタジアム刈谷及び本市総合運動公園指定管理者への開催業務委託や実施種目に関し専門性等を有する市サッカー連盟への参加者募集や観戦集客等の協力依頼により、事業実施体制の効率化を図ることができたと考えられる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	第7次刈谷市総合計画では、スポーツ活動プログラムの充実として、市民がスポーツに興味や関心を持ち、スポーツ活動に参加できるよう掲げており、計画推進に寄与できた事業であると考えられる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	日本代表として世界を舞台に活躍した一流の選手たちと触れ合える機会を設けることで、国際スポーツ大会等の開催気運を盛り上げるとともに、競技力の向上、競技を通じた青少年の健全育成が図られ、「サッカーのまち」として、魅力あふれるまちづくりに寄与できたと考えられる。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
<p>本事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として全国各地で実施する事業であり、今回の本市での開催については、「サッカーのまち」として、魅力あふれるまちづくりを目指すとともに、2020年のフットサルワールドカップの日本・愛知県開催に向けての気運の醸成を図ることを目的に、本市が開催を希望し、自治総合センターによる選定を受け、本市及び愛知県、自治総合センターが主催者となり開催した事業である。</p>						

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	クラブ・団体の育成							
	目的	地域のスポーツ振興のみならず、スポーツを通じた地域コミュニティの形成、青少年育成、高齢者や障害のある人の社会参画の場としての効果を期待する総合型地域スポーツクラブの育成を図る。				主たる内容	○総合型地域スポーツクラブへの運営補助 ○各クラブの自立に向けた調査研究事業委託（総合型地域スポーツクラブ研究会の開催）			
	位置づけ	関連計画：スポーツ基本計画（国）、第2次刈谷市スポーツマスタープラン 根拠法令：スポーツ基本法								
	対象者	市民			事業期間	平成16年度～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 ・クラブ運営補助 補助対象クラブ数 5クラブ		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 講習会の開催 1回 ・クラブ運営補助 補助対象クラブ数 3クラブ		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 講習会の開催 1回 ・クラブ運営補助 補助対象クラブ数 1クラブ		・総合型地域スポーツクラブ研究会 開催回数 6回 バドミントン及び卓球交流会の開催 各1回 講習会の開催 1回		
		成果	研究会の開催によるクラブ間の定期的な情報共有や意見交換、研究会での協議を基にした講習会や卓球交流会等の開催などにより、各クラブの活動の充実やクラブスタッフの資質の向上等を図ることが出来た。							
課題		・会員の確保、活動拠点の確保、安定的な財源の確保、運営スタッフの充実、組織力の強化等、各クラブの自立及び経営の安定化に向けた新たな支援の検討								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		総合型地域スポーツクラブ加入者数（人）			2,175	2,182	2,208	2,285	2,450	
指標										
他市との比較検証		近隣市町のクラブ設立状況 碧南市1クラブ、安城市2クラブ、知立市1クラブ、高浜市1クラブ、東浦町1クラブ								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,750	950	450	250	合計	450,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	250,000 円		
		一般財源	1,750	950	450	250	負担金、補助及び交付金	200,000 円		
	職員人件費 ②		1,567	1,563	1,939	1,950				
	総事業費（①+②）		3,317	2,513	2,389	2,200				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	総合型地域スポーツクラブには、実施種目や世代の多様性などの特性から、スポーツ振興のみならず、地域コミュニティの形成や青少年の健全育成、高齢者等の社会参画の場の提供などの役割が期待できるため、市がクラブの育成支援を積極的に行うことはとても有益である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	運営に対する補助金支出については、削減計画に基づき平成25年度から削減をすすめてきており、平成29年度をもって終了した。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	地域住民が主体的な運営ができるよう育成支援するために必要な事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの重点施策として推進を図っており、活動の充実やスタッフの資質の向上等、市内各クラブの育成に貢献している。また、中学校区ごとに設立された各クラブは、住民が気軽にスポーツ活動等に参加できる場としての役割を果たすことが出来ている。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後について、運営補助金の交付については、削減計画に基づき削減をすすめてきた結果として29年度末をもって終了となりましたが、クラブ運営の基本である自主・自立に向け、引き続き、定期的な研究会の開催により、各クラブ間の情報共有や意見交換、アドバイザーからの助言聴取等を図るとともに、各クラブ、運営の安定化に向けた財源確保策等の検討を進めます。					

会計名 一般会計			体育館施設改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	スポーツ課		
10	7	3					担当係	業務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	スポーツ						
			施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的		体育施設の円滑な管理運営を図る。			主たる内容		○体育施設及び設備の改修工事		
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者					事業期間	平成28年度～			
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績 V	27年度実績		28年度実績			29年度実績		30年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> 自家発電ラジエーター取替修繕 冷温水発生機用冷却水ポンプ取替修繕 冷温水ポンプ取替修繕 受変電設備改修工事 水冷チラー更新工事 中央監視装置更新工事 			<ul style="list-style-type: none"> 吊物設備取替修繕 消火設備取替修繕 外壁改修等工事 空調設備更新工事 弓道場安土改修工事 球場外野クッションフェンス改修工事 電灯変圧器取替工事 便所排気ファン取替工事 		<ul style="list-style-type: none"> 港町グラウンド看板修繕 キッズルーム床改修工事 	
成果		計画通りに改修できた。施設の老朽化による突発的な修繕への対応も行うことができた。								
課題		施設の老朽化により、予期しない修繕等も考えられるため、日頃の点検を強化した上で維持管理計画を考える必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		各種施設が整いスポーツ活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）				—	77.8	—	79.0	80.0
活動指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）				—	44.6	—	50.0	50.0
他市との比較検証		体育館施設 安城市2棟（S54、H12）、碧南市1棟（H7）、知立市1棟（S57）、高浜市1棟、西尾市5棟（S54、S59、H4、H5、H21）								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	41,609	119,906	1,800	合計	119,906,288 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	2,512,728 円		
		一般財源	0	41,609	119,906	1,800	工事請負費	117,393,560 円		
	職員人件費 ②		0	2,735	2,326	1,950				
	総事業費（①+②）		0	44,344	122,232	3,750				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			<p style="text-align: center;">体育館施設改修事業</p>	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	7	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	市民が利用できる施設の維持に必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	計画的な経費の執行が必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	スポーツ施設の計画的な整備に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
維持管理のための計画的な施設改修、修繕が必要である。					

会計名		スポーツリーダー養成講座事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	普及係	
10	7					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ指導者の育成						
	目的	高齢化社会の進展、余暇時間の増大等に伴い、生涯スポーツ活動を推進するため、その推進役となるリーダーを育成し、市民スポーツ活動の活性化、継続化を図る。	主たる内容	○専門知識や実績を有する講師によるスポーツリーダー養成講座の開催					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
	対象者	市民		事業期間	平成7年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・スポーツリーダー養成講座 開催回数 1回（3コマ） 【講座メニュー】 スポーツにおける体幹の重要性（座学・実技） トップ選手が行う外傷予防トレーニング		・スポーツリーダー養成講座 開催回数 1回（2コマ） 【講座メニュー】 効果、効率を考えたトレーニング テーピング		・スポーツリーダー養成講座 開催回数 1回（2コマ） 【講座メニュー】 どうしたら100%の力を発揮できるのか？（スポーツ心理学） からだの緊張のほぐし方（ヨガストレッチ）		・スポーツリーダー養成講座 開催回数 1回（2コマ）	
成果		日々進歩する専門知識や最新のスポーツ科学を取り入れた研修機会を継続的に提供することにより、参加者のスポーツリーダー、指導者としての資質や知識の向上に寄与することができた。							
課題		・現状、生涯学習指導者名簿等への掲載のみである養成したリーダーを活用するシステムのさらなる拡充 ・参加者数の増加に向けた、実際の現場で活躍されている指導者たちへの効率的、効果的な啓発や講座内容の選定の際のニーズの把握 ・総合運動公園指定管理者が開催している同種の講座との棲み分け又は共催など、効率的・効果的な開催方法の検討							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
	活動指標	スポーツリーダー養成講座修了者数（人）			45	37	38	50	50
	指標								
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		115	97	85	151	合計	85,296 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	30,000 円	
		一般財源	115	97	85	151	需用費	55,296 円	
	職員人件費 ②		1,175	782	388	390			
	総事業費（①+②）		1,290	879	473	541			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			スポーツリーダー養成講座事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	7	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	市民がスポーツを継続するためには、だれもが気軽に参加できるスポーツプログラムとそれを適切に指導する指導者が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知教育大学等の教育機関及びホームタウンパートナーチーム等スポーツ関係団体と協働して、講座のメニュー作りから指導まで一環して行い、産官学連携したスポーツ推進に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	第2次刈谷市スポーツマスタープランの基本施策として推進を図っており、プランに掲げる基本理念やテーマを実現するために、市が主体的に実施していく必要があると考えている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランの基本施策として推進を図っており、指導者の資質の向上等に貢献している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	市民のスポーツ活動が多様化、高度化し、指導者へのニーズも質・量ともに増大しており、指導者には、豊かな人間性、競技の専門性、スポーツ環境や条件の管理能力などが求められておりますので、今後については、技術指導だけでなく、スポーツの多様な楽しみ方の指導など、幅広いマネージメントができる指導者の育成に努めます。 また、講座のテーマや回数については、現場の声やスポーツを取り巻く時代の潮流等も参考に決定を行います。				

会計名		総合運動公園管理運営事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	業務係	
8	4					5			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	公園内の施設の維持管理作業を指定管理者に行わせることにより、利用者の安全性の確保と快適性の維持を図る。			主たる内容	○総合運動公園の施設、樹木及び植栽地等の管理運営業務			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	都市公園法						
	対象者	公園利用者			事業期間	平成29年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		—		・公園と体育施設の一体的な管理をすることができた。		・指定管理者による管理運営	
成果		都市公園内にある体育施設と一体的に指定管理者が管理することにより、利用者への対応などがスムーズに行うことができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			—	71.4	—	75.7	80.0
活動指標					—				
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	37,284	37,895	合計	37,284,486円	
	財源	特定財源	0	0	253	560	需用費	695,250円	
		一般財源	0	0	37,031	37,335	委託料	36,243,360円	
	職員人件費②		0	0	2,016	2,028	使用料及び賃借料	345,876円	
	総事業費（①+②）		0	0	39,300	39,923			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		財産収入 諸収入					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝選手派				担当部	教育部		
款	項	目	遣事業			担当課	スポーツ課		
10	7	2				担当係	指導係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会に刈谷市代表選手を派遣し、市民にPRすることで、競技の普及を図るとともに、刈谷市を含めた愛知県内の市町村スポーツ振興に寄与する。	主たる内容	愛知県が後援している愛知県陸上競技協会及び東海テレビ放送が開催する大会に刈谷市より選手を派遣する事業を実行委員会に委託する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	選抜選手並びに実行委員	事業期間	平成18年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		各部門2名計18名の選手を選出し、数回の合同練習会を行った。 ・総合順位 第9位入賞		各部門2名計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行った。 ・総合順位 第10位入賞		各部門2名計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行った。 ・総合順位 第10位入賞		各部門2名計18名の選手を選出し、5回の合同練習会を行う。 ・目標順位 第7位入賞	
成果		大会を通じて愛知万博を次世代へ継承するとともに、競技者育成、市町村相互の交流及びスポーツ振興を図ることができた。							
課題		世代ごとの選手選考及び発掘が課題である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		総合順位（位）		9	10	10	7	5	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		270	270	270	300	合計	270,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000円	
		一般財源	270	270	270	300			
	職員人件費②		3,917	3,908	3,102	3,120			
	総事業費（①+②）		4,187	4,178	3,372	3,420			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			各種大会開催事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	7	2					担当係	普及係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	各種目毎に参加者相互の情報交換と交流を深めるとともに、スポーツの普及振興に寄与する。			主たる内容	○専門の知識と実績を有する団体等への事業委託による各種スポーツ大会の開催			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 708人 ソフトバレーボール 171人 ミニテニス 86人 ユニホッケー 98人 GOGOウォーキング168人 参加者数 計1,231人		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 698人 ミニテニス 100人 ユニホッケー 70人 GOGOウォーキング150人 参加者数 計1,018人		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 729人 ミニテニス 86人 ユニホッケー 84人 GOGOウォーキング137人 参加者数 計1,036人		・スポーツ大会等の開催 一万人卓球 ユニホッケー GOGOウォーキング	
成果		市民が気軽に参加できる大会を開催することにより、選手間の交流が深められた。また、日頃のスポーツ活動の成果を発揮できる場を提供することにより、競技力や取組み意欲の向上を図ることが出来た。 誰もが、いつでも、どこでも、手軽に始められ、継続して行うことが出来るスポーツであるウォーキングの大会を開催することにより、普段スポーツに関わりの少ない市民にスポーツを始めるきっかけ作りを行うことが出来た。							
課題		・競技団体による自主的な大会開催への移行促進 ・競技者が大会に参加したくなるような効果的、効率的な啓発							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
活動指標	各種大会、イベント参加者数（人）				12,792	12,689	12,994	13,000	13,000
指標									
	他市との比較検証								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		575	480	481	404	合計	480,800 円	
	財源	特定財源	186	144	135	140	役務費	51,800 円	
		一般財源	389	336	346	264	委託料	429,000 円	
	職員人件費 ②		1,959	1,954	1,939	1,560			
	総事業費（①+②）		2,534	2,434	2,420	1,964			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		大会参加料					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名		ニュースポーツ普及事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	スポーツ課		
款	項					目	担当係	普及係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	生涯スポーツの振興にあたり、市民が手軽に楽しめる環境づくりを推進するため、ニュースポーツを広く紹介する。			主たる内容		○刈谷市スポーツ推進委員協議会への委託によるスポーツふれあいday等の開催		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・スポーツふれあいday 開催回数 12回 一般参加者数 265人 種目 ノルディック・ウォーク ディスクドッチ キンボール ペタンク ユニホッケー		・スポーツふれあいday 開催回数 20回 一般参加者数 747人 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール 等 ・ノルディック・ウォークステーション 開催回数12回 一般参加者数 303人		・スポーツふれあいday 開催回数 14回 一般参加者数 504人 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール 等 ・ノルディック・ウォークステーション 開催回数11回 一般参加者数 266人		・スポーツふれあいdayの開催 （支部開催及び全体会） 種目 ノルディック・ウォーク ミニテニス ソフトバレーボール 等 ・ノルディック・ウォークステーションの開催（月1回）	
成果		子どもから高齢者まで、多くの市民に、スポーツを始める、スポーツに親しむきっかけ作りを行うことができた。ノルディックウォークのアンケートによると、継続的に参加されている市民が多く、継続して運動する場を提供することができた。							
課題		・スポーツをしていない人たちが、スポーツに対して興味・関心を持ち、スポーツ活動に参加したくなるような効率的、効果的な啓発 ・競技種目の継続実施を希望する方々に向けた、既存競技団体等への橋渡しや受け皿の確保 ・効率的なイベント開催によるスポーツ推進委員の負担の軽減							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		スポーツふれあいday等開催回数(回)			12	32	25	25	28
成果指標		スポーツふれあいday等一般参加者数(人)			265	1,050	770	810	900
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		200	200	200	200	合計	200,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	200,000 円	
		一般財源	200	200	200	200			
	職員人件費 ②		783	1,172	1,163	1,560			
	総事業費（①+②）		983	1,372	1,363	1,760			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			各種大会出場選手激励事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	指導係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	各競技団体などが主催する全国大会等に、刈谷市から出場する選手に対して激励金を交付することにより、大会での活躍を激励するとともに、各競技の技術向上を図り、社会体育全体の普及振興に資する。			主たる内容	国際大会、全国大会等に出場する選手を激励し、補助を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	全国大会出場届提出者		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・交付人数 836人 ・交付金額 2,707,500円		・交付人数 751人 ・交付金額 2,863,000円		・交付人数 453人 ・交付金額 3,019,000円		・交付見込人数 500人 ・交付見込金額 3,000,000円	
成果		本市から世界大会や全国大会等へ出場する選手に対して、激励金を交付することにより大会の活躍を願い激励した。また、各種大会出場選手への激励並びに補助を行い、スポーツ振興と競技力向上に努めるとともに、全国大会等出場選手の把握に努めることができた。							
課題		H29年度より交付基準の改正をおこなったため、各種大会出場選手に対して各種大会出場選手激励事業の交付基準を広く周知していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標	交付人数（人）		836	751	453	500	500		
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,708	3,072	3,019	3,000	合計	3,019,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	3,019,000 円	
		一般財源	2,708	3,072	3,019	3,000			
	職員人件費 ②		1,959	1,954	1,163	1,365			
	総事業費（①+②）		4,667	5,026	4,182	4,365			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			かきつばたマラソン大会開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	指導係	
10	7	2							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	マラソン競技者の拡大及び市民のスポーツ競技の参加意欲の増進を図り、体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図る。	主たる内容	年齢別男女別の1.5、3、10kmのマラソンコースと誰でも気軽に参加できるジョギングコースを設定し、市民マラソン大会を開催する					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	昭和48年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O A 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、天候に恵まれ1,870人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、天候に恵まれ1,759人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、天候に恵まれ1,852人の参加者であった。		ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10km、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、2,000人の参加者を見込む。	
成果		参加者の安全面に考慮してコースの一部変更をおこなった。また、今回大会は刈谷市ホームタウンチームであるシーホース三河との協力により参加賞にコラボTシャツを作成し好評を得ることができ、市民の体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図ることができた。							
課題		参加者に対して当日の受付方法やスケジュールなどの事前周知を図り、参加者の安全面を第一に配慮した企画運営を実施し、引き続き参加者数に対応したコース変更の検討が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標	参加者数（人）		1,870	1,759	1,852	2,000		—	
指標									
他市との比較検証	県内の多くの自治体で、同様の市民マラソン大会が実施されている。 （知立市・安城市・岡崎市・東浦町・大府市・高浜市・みよし市・犬山市など）								
C事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		2,131	1,949	2,014	2,014	合計 2,014,088 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 17,000 円		
		一般財源	2,131	1,949	2,014	2,014	原材料費 425,088 円		
	職員人件費②		4,701	4,689	3,877	3,900	負担金、補助及び交付金 1,572,000 円		
	総事業費（①+②）		6,832	6,638	5,891	5,914			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			スポーツマスタープラン策定事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	普及係	
10	7	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	平成20年度に策定した第2次刈谷市スポーツマスタープランが平成30年度で終了するため、第3次刈谷市スポーツマスタープランを策定し、平成31年度以降のスポーツ振興を計画的に推進する。	主たる内容	○第3次刈谷市スポーツマスタープランの策定					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令	スポーツ基本法						
	対象者	市民	事業期間	平成29年度～平成30年度					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> 策定部会、スポーツ推進審議会の開催 スポーツに関する市民等意識調査の実施 18歳以上の市民 市内高校2年生 市内中学2年生 市内小学5年生 スポーツ関連団体 調査報告書の作成 		<ul style="list-style-type: none"> 策定委員会委員の公募 策定部会、策定委員会（スポーツ推進審議会）の開催 第2次プランの検証 第3次プランの策定 パブリックコメントの実施 計画書、概要版の作成 	
成果		スポーツに関する市民等意識調査により、市民やスポーツ関連団体のスポーツ活動の実態、スポーツに対する意識やニーズを把握することができた。							
課題		スポーツに関する市民等意識調査の結果に対応した計画とする必要がある。国の第2期スポーツ基本計画など関連計画と整合のとれた計画とする必要がある。スポーツに関する本市の地域特性を活かした計画とする必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		策定委員会（スポーツ推進審議会）開催回数（回）			—	—	2	4	
活動指標		計画策定進捗率（％）			—	—	50.0	100.0	
他市との比較検証		スポーツ推進計画の策定状況（県内54市町村 平成29年3月31日時点） 単独の計画がある市町村数：27 総合計画にのみ計画がある市町村数：16 単独の計画を作る予定がある市町村数：1 計画がない市町村数：10							
C 事業コスト		単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①	0	0	2,498	2,163	合計	2,498,246 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,498,246 円	
		一般財源	0	0	2,498	2,163			
	職員人件費 ②	0	0	3,102	7,799				
	総事業費（①+②）	0	0	5,600	9,962				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷市体育協会補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	指導係		
10	7	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	クラブ・団体の育成							
	目的	市民の健全な心身の発展に寄与することを目的に活動する刈谷市体育協会に対し補助を行い、本市における体育・スポーツ団体を統括するとともに、市民スポーツの普及振興を図る。			主たる内容	○市民のスポーツ活動の向上等に関する調査研究 ○スポーツ団体の育成・強化 ○スポーツ団体への情報提供 ○スポーツ大会等の実施 ○体育施設の充実等についての指導及び助言 ○その他目的の達成に必要な事業の実施				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
		対象者	刈谷市体育協会加盟団体			事業期間	昭和34年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 協会組織の強化を図るための調査、研究 各種国際大会等の誘致に向けた取組 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 各種国際大会等の誘致に向けた取組 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 各種国際スポーツ大会等の誘致に向けた取組 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 各種国際スポーツ大会等の誘致に向けた取組 		
成果		各種事業を実施し、市民スポーツの普及振興を図るとともに、スポーツ少年団への補助やスポーツ振興事業開設補助によりジュニア育成事業の一層の推進を図り、本市の将来を担う競技者の育成を図った。また、刈谷市と協働し、国際スポーツ大会等の誘致に向けた取組を行い、「みる・ささえるスポーツ」の普及に努めた。								
課題		本市における体育・スポーツ団体の中心的な組織として、継続した活動を行うため、安定した財源確保に努めていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		加盟人数（人）			12,241	12,076	11,983	13,000	13,000	
指標										
他市との比較検証		公益財団法人・・・豊橋市・豊田市・小牧市・名古屋市・岡崎市 NPO法人・・・犬山市・安城市								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		5,906	4,550	4,550	4,550	合計 4,550,000円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 4,550,000円			
		一般財源	5,906	4,550	4,550	4,550				
	職員人件費②		7,834	7,815	7,754	8,579				
	総事業費（①+②）		13,740	12,365	12,304	13,129				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			刈谷市レクリエーション協会補助事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	スポーツ課		
10	7	2					担当係	指導係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	クラブ・団体の育成							
	目的	刈谷市レクリエーション協会に対し補助を行い、市民の健康と文化の向上並びに健全なスポーツ・レクリエーション活動の実施、普及を図る。			主たる内容	市内のスポーツ・レクリエーション団体を束ね、各団体の指導育成、各種大会の開催及び指導者養成などの事業を実施する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
		対象者	刈谷市レクリエーション協会加盟団体		事業期間	昭和22年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会の実施 加盟団体委託事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会をはじめとする協会主催事業の実施 加盟団体委託事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会をはじめとする協会主催事業の実施 加盟団体委託事業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市民盆踊り大会をはじめとする協会主催事業の実施 加盟団体委託事業の実施 		
成果		市民の健康と文化向上を図るため、各種スポーツ・レクリエーション活動を実施するとともに、加盟団体の支援・育成に努め、更なる生涯学習活動の振興が図られた。								
課題		市内のスポーツ・レクリエーションの更なる普及・振興を図るため、協会所属団体が主体性を持って継続的、組織的に活動できる仕組みと次代を担うレクリエーションリーダーの養成が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標	加盟人数（人）			1,698	1,609	1,690	1,750	1,750		
指標										
他市との比較検証	【他市レクリエーション協会加盟状況】 名古屋市、豊橋市、一宮市、碧南市、西尾市、稲沢市、日進市、岩倉市、豊明市、北名古屋市、清須市、長久手市、あま市、弥富市									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		1,920	1,920	1,920	1,920	合計 1,920,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,920,000 円			
		一般財源	1,920	1,920	1,920	1,920				
	職員人件費 ②		5,484	5,471	5,428	5,460				
	総事業費（①+②）		7,404	7,391	7,348	7,380				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			ウイングアリーナ刈谷等施設管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	7	3					担当係	業務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	ウイングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷及びグリーングラウンド刈谷の管理及び運営を指定管理者に行わせることにより住民サービスの向上と経費削減を図る。	主たる内容	○体育施設の管理、運営 ○体育施設の利用受付 ○自主事業の開催					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市スポーツマスタープラン					
			根拠法令	地方自治法、刈谷市体育施設条例					
		対象者	施設利用者	事業期間	平成19年度～				
		実施方法	■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営	
成果		効率的な管理運営が行われている。民間のノウハウを生かした各種事業が実施された。毎年、安定して多くの利用がある。自主事業の教室の参加者数も毎年増加している。							
課題		10年が経過し、今後の施設の維持管理計画を考えていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		各種施設が整い、文化やスポーツ、学習活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）		—	77.8	79.0	79.0	80.0	
成果指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）		—	44.6	46.0	46.0	50.0	
他市との比較検証		他市の施設管理、指定管理 直営 安城市、豊田市、西尾市、岡崎市、みよし市 知立市、碧南市、高浜市							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		262,346	252,795	262,606	268,309	合計	262,605,763 円	
	財源	特定財源	41,053	55,730	60,215	51,244	需用費	64,700,771 円	
		一般財源	221,293	197,065	202,391	217,065	役務費	1,033,547 円	
	職員人件費 ②		3,525	4,298	3,893	4,290	委託料	192,138,920 円	
	総事業費（①+②）		265,871	257,093	266,499	272,599	使用料及び賃借料	4,732,525 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		使用料及び手数料					
31年度以降の事業費見込		0		財産収入 諸収入					

会計名 一般会計			体育館等施設管理事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	スポーツ課		
10	7	3					担当係	業務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放							
	目的	刈谷市内の体育施設（刈谷市体育館他7施設）の施設管理及び運営を指定管理者に行わせるなど効率的に行い、円滑な管理運営を図る	主たる内容	○体育施設の管理、運営 ○体育施設の利用受付						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
			根拠法令	地方自治法、刈谷市体育施設条例						
		対象者	施設利用者	事業期間	平成19年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・指定管理者及び直営による管理運営		・指定管理者及び直営による管理運営		・指定管理者及び直営による管理運営		・指定管理者および直営による管理運営		
成果		指定管理を行っている施設の経費節減が図られた。毎年、安定して多くの利用がある。								
課題		・指定管理範囲外の施設の、より円滑な管理運営方法の検討 ・体育館の施設維持老朽化対策								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標	各種施設が整い、文化やスポーツ、学習活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）		—	77.8	79.0	79.0	80.0			
成果指標	週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）		—	44.6	46.0	46.0	50.0			
他市との比較検証	他市の状況、指定管理 豊田市、西尾市、岡崎市、みよし市 直営 安城市、知立市、碧南市、高浜市									
C 事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		154,009	142,091	144,523	156,150	合計	144,522,851 円		
	財源	特定財源	28,642	34,473	35,084	33,338	需用費	3,638,630 円		
		一般財源	125,367	107,618	109,439	122,812	役務費	301,490 円		
	職員人件費 ②		3,525	3,517	3,877	3,900	委託料	140,582,131 円		
	総事業費（①+②）		157,534	145,608	148,400	160,050	使用料及び賃借料	600 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		使用料及び手数料						
31年度以降の事業費見込		0		財産収入 諸収入						

会計名			ウイングアリーナ刈谷等施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	業務係	
10	7	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	ウイングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷及びグリーングラウンド刈谷の円滑な管理運営のため必要な整備を行い、施設の適切な運用を図る。	主たる内容	○設備の修繕及び整備工事					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	施設利用者	事業期間	平成21年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・ウイングアリーナ刈谷 電動ロールスクリーン修繕 エレベータ改修工事 他 ・ウェーブスタジアム刈谷 空調機修繕 音響設備整備工事 他 ・国道23号下駐車場整備工事		・ウイングアリーナ刈谷 フロア図面版修繕 ・ウェーブスタジアム刈谷 場内時計システム修繕 女子トイレ工事 監視カメラシステム改修工事		・ウイングアリーナ刈谷 メインアリーナ床修繕		・ウイングアリーナ刈谷 消防設備修繕 中央操作盤更新工事 他 ・ウェーブスタジアム刈谷 第3種公認工事 屋根支柱耐火塗装改修工事 防鳥ネット取付工事 他	
成果		計画通り整備できた。							
課題		今後、施設の老朽化による突発的な対応と、計画的な改修が必要になる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		ウイングアリーナ刈谷利用者数（人）		339,056	335,295	358,698	359,000	359,500	
指標									
他市との比較検証		公認陸上競技場 第1種 名古屋市 第2種 豊田市、知多市 第3種 名古屋市、豊橋市、豊川市、一宮市、半田市							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		111,026	9,166	972	307,059	合計	972,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	972,000 円	
		一般財源	111,026	9,166	972	307,059			
	職員人件費 ②		1,959	2,735	2,326	2,730			
	総事業費（①+②）		112,985	11,901	3,298	309,789			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			学校開放事務費事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	7	3					担当係	業務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放						
	目的	学校教育に支障のない範囲で、小中学校の体育施設を地域住民のスポーツ活動の利用に供し、市民の健康の保持増進と体力の向上を図る。	主たる内容	○各小中学校開放運営委員会及び管理指導員による施設開放の実施 ○学校開放施設の修繕 ○競技用備品の購入					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市スポーツマスタープラン					
			根拠法令	刈谷市立小中学校体育施設等のスポーツ開放に関する規則					
		対象者	市民	事業期間	昭和52年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 計画 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・利用件数 9,876件 ・利用人数 209,476人		・利用件数 9,745件 ・利用人数 207,263人		・利用件数 9,797件 ・利用人数 210,428人		・利用件数 10,000件 ・利用人数 210,600人	
成果		多くの市民にスポーツ活動の場を提供することができ、一市民スポーツの推進が図られたとともに、市民の健康の保持増進と体力の向上に寄与することができた。							
課題		・施設利用の効率化や各学校の開放運営委員会事務担当者の負担の軽減等を図るための、学校スポーツ開放のあるべき姿や実施方法等の見直し、検討							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標	学校スポーツ開放登録人数（人）		10,532	10,572	10,068	10,800	11,000		
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト V	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		20,039	20,689	15,055	14,653	合計	15,055,196円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	11,874,500円	
		一般財源	20,039	20,689	15,055	14,653	需用費	1,275,480円	
	職員人件費②		3,134	3,126	3,102	3,120	委託料	1,478,400円	
	総事業費（①+②）		23,173	23,815	18,157	17,773	備品購入費	426,816円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			スポーツ推進委員事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	7	2								
PLAN概要	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ指導者の育成							
	目的	地域のスポーツ推進のために活動するスポーツ推進委員の支援を行う。	主たる内容	○自主事業の開催 ○啓発冊子の発行 ○市民の要望に応じた実技指導の実施 ○学校、公民館等の教育機関その他行政機関が行うスポーツ行事又は事業への協力 ○定例会議の開催 ○研修会等への参加						
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市スポーツマスタープラン						
			根拠法令	スポーツ基本法、刈谷市スポーツ推進委員に関する規則						
		対象者	市民、スポーツ推進委員		事業期間	昭和37年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 30回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォークステーション ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 35回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォークステーション ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 28回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォークステーション ・啓発冊子の発行 ・地域への推進員派遣 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		
成果		地域のスポーツコーディネーターとして、一市民一スポーツの推進に寄与することができた。 支部会及び部会、企画委員会をそれぞれ毎月1回定例で開催することにより、スポーツ推進委員間の情報共有や交流促進、連携強化等が図られ、事業等を円滑に実施することが出来た。								
課題		・スポーツ推進委員の資質の向上と技能の習得 ・人口等に比した適切な人数の確保及び推進委員の高齢化への対策 ・委員の選定方法や報酬額についての検討								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）		—	44.6	—	50.0	50.0		
指標										
他市との比較検証		近隣市の推進委員の数及び委員1人あたりの人口（愛知県調査「平成28年度生涯スポーツの実態」より） 刈谷市50人／3,003人 碧南市30人／2,404人 安城市57人／3,284人 知立市30人／2,379人 高浜市25人／1,906人 岡崎市118人／3,262人 西尾市65人／2,639人 豊田市156人／2,711人								
C事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		744	1,227	566	1,115	合計	565,609 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	207,940 円		
		一般財源	744	1,227	566	1,115	需用費	224,704 円		
	職員人件費 ②		2,350	2,345	2,326	2,730	役務費	81,790 円		
	総事業費（①+②）		3,094	3,572	2,892	3,845	委託料	5,475 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								